

委員団体の活動紹介

一般社団法人
不動産証券化協会

長期・安定的な投資を志向する国内外の
投資家を不動産投資市場へ呼び込むため、
幅広い活動を展開しています。

一般社団法人不動産証券化協会（以下、「AREES」）は、不動産証券化にかかわる企業・団体を既存の業界の枠組みを超え横断的に結集し、不動産証券化商品市場の社会的信用確保と投資家保護を目的として各種活動を行っています。

主な活動として、不動産証券化推進を目的とする法制や税制等の整備・改善に関する政策提言、不動産証券化事業推進のための調査研究、不動産証券化に係る教育・啓蒙活動、不動産証券化協会認定マスター（資格制度）養成講座の運営、不動産証券化商品に関する広報活動などを積極的に実施しています。

また、投資家からの苦情解決支援窓口としての「苦情相談室」を設置するとともに、AREES会員が社会的使命を自覚のうえ遵守すべき倫理・行為規範として「自主行動基準」を定め、その普及・定着を図っています。

Jリートに代表される不動産証券化商

品は十分に認知が進んでいない状況にあるため、特に一般投資家に向けたJリート
の普及・啓蒙の活動として、東証との
共催により「個人投資家のためのJリー
トフェア」を年2回開催しているほか、
WEB上でJリートの商品解説を展開す
るなど認知度向上のための取り組みにも
力を注いでいます。

1500兆円と言われる個人金融資産
の運用先が求められている中で、不動産
投資市場は幅広い投資家層に様々な投資
機会を提供し、国民の資産形成において
重要な役割を果たすとともに、「不動産
と金融資産」を結びつけることで、都市
や地域における安全・安心な不動産ストッ
クの形成、大都市の再生・地域活性化に
も寄与してきました。

AREESでは、長期にわたる経済低迷、
不動産の環境配慮への対応といった我が
国が抱える課題解決のためにも、今後も
不動産投資市場が健全に発展していくこ

とが重要であると認識し、これからも積
極的な活動を通じてわが国の経済発展に
貢献するよう努めてまいります。



平成24年10月、東京証券取引所にて開催した「個人投資家のための秋のJリートフェア2012」の様子。約1000名に会場していただいた。

全国農業協同
組合中央会

J Aは「相互扶助」の精神に基づき、組合員の営農と生活を守り、よりよい地域社会を目指す協同組合です。

全国農業協同組合中央会（JA全中）は、JAグループの全国機関のひとつであり、グループ内で指導事業を担うとともに、対外的な代表機能を有しています。

JAはJapan Agricultural Cooperatives

（日本の農業協同組合）の略で、農業協同組合（農協）のイメージを象徴する愛称です。

JAは、組合員の農業経営・技術指導や生活についてのアドバイスを行うほか、生産資材や生活に必要な資材の共同購入を行ったり、農畜産物を共同で販売したり、農業生産や生活に必要な共同利用施設（お米の乾燥調製施設や野菜・果物の選果場など）の設置などを行っています。また、貯金の受け入れや融資を行う信用事業や万一の場合に備える共済事業などさまざまな事業や活動を行っています。東日本大震災では、JAグループは「協同の力」を発揮し、116億円に及ぶ義援金・募金活動やボランティア隊の派遣を今も継続しているほか、信用事業における事業規模1兆円の「復興支援プロ

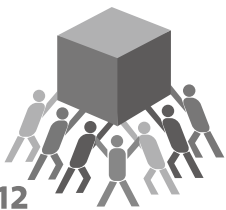
グラム」の創設、共済事業における総額9000億円に達する共済金の支払など、総合事業の特色を活かし多様な支援活動を展開しています（数字はいずれも2012年7月時点）。

また、JAグループは、全国の各地域に根差した組織としての強みとネットワークを活かし、組合員・利用者はじめ地域の皆様、次代を担う児童や若い世代等に対し、相談窓口の設置、講習会への専門家の派遣、各種資材の提供などさまざまな金融情報・教育機会の提供等に努めています。

国連では、日本だけでなく、世界中で行われている協同組合の経済社会開発への貢献を高く評価し、その発展を期して、2012年を国際協同組合年（IYC = International Year of Cooperatives）とする決議が採択されました（2009年12月）。この決議では、協同組合を「人々の経済社会開発への最大限の参加を促している」、「持続可能な開発、貧困の根絶、都市・農村におけるさ

さまざまな経済部門の生計に貢献できる事業体・社会的企業」と高く評価しています。（引用：政府広報オンライン <http://www.gov-online.go.jp/topics/kyodokumiai/index.html>）

この国際協同組合年という記念すべき年に、JAグループは3年に1度のJA全国大会を開催しました（2012年10月）。JA全国大会では、「次代へつなぐ協同」をテーマに、今後JAグループが取り組むべき事項について決議を行いました。この大会決議の実践を通じ、JAグループは引き続き、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たしてまいります。



2012
国際協同組合年

IYCのスローガンは
「協同組合がよりよい社会を築きます」
(Co-operative enterprises build a better world)